

小倉貴久子のシリーズコンサート《フォルテピアノの世界》
さまざまな時代や地域で生まれた作品を当時のフォルテピアノで
楽しいトークとともにお届けします！

Kikuko Ogura
Il mondo del fortepiano



第16回

小倉貴久子

フォルテピアノ の世界

Kikuko Ogura

小倉貴久子



ブロードウッド

1800年頃（太田垣至修復）

波乱万丈の国際的ピアニスト J.L.ドゥセク
～ブロードウッドのピアノによる室内楽～

フォルテピアノ 小倉貴久子

ヴァイオリン 寺内詩織 / チェロ 山根風仁

フラウト・トラヴェルソ 前田りり子 / ホルン 塚田 聡

ヤン・ラジスラフ・ドゥセク

ピアノとヴァイオリン、チェロのためのソナタ 変ロ長調 Op.post. C.261
ピアノとヴァイオリン、ホルンのためのノットウルノ・コンチェルタント Op.68
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ト長調 Op.69-2
ピアノとフルート、チェロのためのソナタ ヘ長調 Op.65

J.L. Dussek



Shiori Terauchi
寺内詩織



Futo Yamane
山根風仁



Liko Maeda
前田りり子



Satoshi Tsukada
塚田 聡

2026 1月14日 水

17:00開演 (16:30開場)

全席自由 4,500円

U-25 2,500円

◎会場

日本ホーリネス教団
東京中央教会

*U-25は、25歳以下限定のチケットです。
入場時に生年月日がわかるものをご提示ください。
*未就学児の入場はご遠慮ください。

◆協力：Ohtagakki

◆後援：（一社）全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）
／東京藝術大学音楽学部同声会

[チケット発売・お問い合わせ]

メヌエット・デア・フリーゲル（主催）
mdf-ks@piano.zaq.jp
TEL 048-688-4921
<https://mdf-ks.com>

[チケット発売]

イープラス <https://eplus.jp>

小倉貴久子の最新情報は
mdf-ks.com



18世紀末から19世紀初頭にかけての動乱のヨーロッパで、国際的な活躍をしたヤン・ラジスラフ・ドゥセク。今で言う「イケメン」の花形ピアニストだったドゥセクは、熱狂的な人気を得て一世を風靡。その後のロマン派の作曲家にも影響を与えています。

ボヘミアに生まれたドゥセクは、オランダ、ロシア、フランス、イギリスと旅をして、各国の王室の寵愛を受けながら活躍。パリではマリー・アントワネットに気に入られ、彼女のピアノ教師になります。ちなみに、現代ではピアノをステージ上で横向きに置くのが一般的な演奏会のスタイルですが、美形の横顔を誇るドゥセクがフォルテピアノを横向きに置いたことがその発端と伝えられています。フランス革命が勃発すると、王侯派だったドゥセクはロンドンに逃れます。その地でも人気を呼び、ブロードウッド社にピアノの音域の拡大を働きかけるなど、ピアノ製作にも大きく関与していきます。

1800年頃に製作されたブロードウッドのフォルテピアノは、ドゥセクのリクエストした5オクターブ半（F1~c4）の音域をもち、産業革命で沸く新時代のピアノ音楽誕生に大きく寄与します。1807年以降の晩年をパリで過ごしたドゥセクは、華やかな技巧をちりばめた魔法の指をもつピアニストとして数々のコンサートで成功を収めます。この演奏会では、その頃作曲されたホルンを交えた室内楽やフルートトリオなど、様々な編成によるパリで大フィーバーしたドゥセクの室内楽作品を、ピリオド楽器の名手たちとお届けします。

小倉貴久子 フォルテピアノ Kikuko Ogura



東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別榮譽賞付き首席卒業。日本モーツァルト音楽コンクールピアノ部門第1位。ブルージュ国際古楽コンクールアンサンブル部門及びフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞受賞。50点以上リリースのCDの多くが推薦盤や特選盤に選ばれている。著書に『ピアノの歴史』『ピアノと友だちになる50の方法「音楽史」』。文化庁芸術祭レコード部門〈大賞〉、ミュージック・ペンクラブ音楽賞、JXTG音楽賞、下総院一音楽賞受賞。東京藝術大学講師を19年間務める。東京音楽大学講師。日本ベーターヴェンクライス理事。

寺内詩織 ヴァイオリン Shiori Terauchi

桐朋学園大学、同大学大学院を修了。日本音楽コンクール、クライスラー国際音楽コンクール等、国内外のコンクールにて入賞。〈パッハ・コレギウム・ジャパン〉のメンバーを務め、桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室講師。

山根風仁 チェロ Futo Yamane

2023年青山音楽賞〈新人賞〉受賞。東京藝術大学を卒業後、英国とベルギーにて研鑽を積む。2024年に帰国し、現在は〈パッハ・コレギウム・ジャパン〉等の奏者として活動している。令和4年度文化庁海外研修員。

前田りり子 フラウト・トラヴェルソ Liliko Maeda

桐朋学園大学を経てデン・ハーグ王立音楽院大学院卒業。ブルージュ国際古楽コンクール第2位。〈パッハ・コレギウム・ジャパン〉などのメンバーとして中世から19世紀までのフルートを駆使して演奏活動を行っている。東京芸術大学講師。

塚田聡 ホルン Satoshi Tsukada

東京藝術大学、アムステルダム音楽院にてホルンを学ぶ。ナチュラルホルンでモーツァルト時代のディヴェルティメントを主なレパートリーとする室内合奏団〈ラ・バンド・サンバ〉を主宰。〈ナチュラルホルンアンサンブル東京〉メンバー。



◎日本ホーリネス教団 東京中央教会

東京都新宿区北新宿1-24-12

総武線・大久保駅下車 徒歩約7分
山手線・新大久保駅下車 徒歩約9分

大久保駅・北口改札を出て、大久保通りを左（中野方面）へ。大きな交差点を渡り、3本目の細い道を左に（信号のある交差点を過ぎてからすぐの道を左）。10メートルほどで左に入る最初の道をまた左折。道なりに歩くと左手に小さな公園。そのまままっすぐ進み左手が教会。駐車場はありません。



公演詳細・アクセス

第17回 予告

楽譜出版記念

メンデルスゾーン、心の旅 ～珠玉のピアノ曲を、銘器シュトライヒャーで～

フォルテピアノ 小倉貴久子 お話 星野宏美



J.B.シュトライヒャー

文豪ゲーテが「奇跡という次元を超えている」と絶賛。多岐にわたる芸術の分野にも秀でていた天才メンデルスゾーンのファンタジーに彩られた珠玉のピアノ曲を、ウィーンのフォルテピアノでお聴きいただきます。

フェリックス・メンデルスゾーン＝バルトルディ
ロンド・カプリチオーソ Op.14
「夏の名残の薔薇」によるファンタジー Op.15
3つのファンタジーまたはカプリス Op.16
ファンタジー《スコットランド・ソナタ》Op.28
厳格なる変奏曲 Op.54、アルバムの変奏 Op.117 ほか



メンデルスゾーン

2026年5月5日（祝・火）13:30 開演
五反田文化センター 音楽ホール

第17回公演のチケットは第16回公演（1月14日）のロビーで先行発売！

先行発売に限り500円引きでチケットをお買い求めいただけます。

メヌエット・デア・フリーゲルのInstagram
instagram.com/mdf_kikuko



MDF_KIKUKO